



DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6 P~14P)	変わらない (△ 5 P~ 5 P)	やや悪い (△ 6 P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

\*【 】は今期の DI 値を記載

### (1) 製造業 景況感 【 Δ21P <悪い> ↓ 】 (前期比 20P)

前期と比べ、売上【Δ43P】、収益【Δ40P】が、それぞれ6Pとやや改善しました。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・10月中旬までは、地元応援券により売上が好転。以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により再び減少した。
- ・緊急事態宣言の解除により、主要取引先である工場が少しずつ稼働を再開しており、当社の売上も若干回復しつつあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大前と比較すると依然厳しい状態である。

### (2) 建設業 景況感 【 Δ13P <やや悪い> ↘ 】 (前期比 22P)

前期と比べ、売上額【Δ16P】、収益【Δ26P】が、それぞれ21P、12Pと大幅に改善しました。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・新型コロナウイルス感染症禍の中、事業所の業務内容によって苦しいところと伸びているところと二極化している。
- ・官公庁からの受注は、ほぼ横這いであるが、受注金額が減少している。従業員の退職により受けられる仕事が限られている。
- ・取引先から安定した受注を確保しており、業況は堅調に推移している。

**(3) 卸・小売業 景況感 【△42P <悪い> ↓】 (前期比△3P)**

前期と比べ、資金繰り【△9P】は、17P改善し、他の項目は横這いとなりました。

☆事業者の主な声☆

- ・固定客の売上に影響は無いと思われるが、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少が見込まれ、売上が減少するものと思われる。
- ・「Go to」等国の施策により回復傾向にあるが、同施策の終了により再び厳しい業況となることが予想されることから、経費削減、新規顧客の確保が課題である。
- ・主要取引先であるスーパーの売上は安定しており、個人宅や自衛隊への卸も落ち込みなく例年並みを推移。個人宅への販路拡大に向け、外注営業も導入して取り組んでいる成果が見込まれる。

**(4) 不動産業 景況感 【△15P <悪い> ↓】 (前期比62P)**

前期と比べ、売上額【△29P】、収益【△21P】、資金繰り【0P】がそれぞれ48P、64P、23Pと大幅に改善しました。

☆事業者の主な声☆

- ・夏頃に比べると引き合いも徐々に増えてはきているものの、契約には慎重になっているケースが多く不動産市況は鈍い。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は、限定的である。横須賀市の不動産市況についても徐々に回復傾向にあり、仲介業に関しては好況である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は少ない。営業時間短縮等の要請があれば状況を見て対応していく。

**(5) サービス業 景況感 【△72P <悪い> ↓】 (前期比4P)**

前期と比べ、収益【△56P】が21Pと大幅な改善となりました。他の項目は横這いの状況です。

☆事業者の主な声☆

- ・徐々に売上は回復傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症が再燃し客足が減少。昼の営業は、土木作業員や近所の方が来るものの、夜はほとんど来ない。
- ・今年は、自宅で長い時間を過ごすお客様が増え、灯油の売上が伸びるとみており、ガソリンの売上の落ち込みを少しでもカバーしたいと考えている。
- ・「Go to」や地元応援券等のキャンペーンが集客に繋がっていたが、新型コロナウイルス感染症の再度拡大の報道が出ると、キャンセルが続くといった不安定な状況が続く。

DI値 調査結果

前 …前期 令和2年7月～9月の景況感(調査時点 令和2年9月1日)  
 今 …今期 令和2年10月～12月の景況感(調査時点 令和2年12月1日)  
 次 …次期 令和3年1月～3月の景況感(調査時点 令和2年12月1日)



業種別調査企業数(I業種別調査企業数(回答数))

(単位:社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	158	37	32	46	13	30
今期	159	33	31	45	14	36
次期	159	33	31	45	14	36

(単位:ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	9	16	13	5	21	18	9	29	23	15	9	9	0	21	21	7	6	3
変わらず	33	32	37	49	37	40	47	29	35	31	40	44	23	43	36	10	16	25
悪い(B)	58	52	50	46	42	42	44	42	42	54	51	47	77	36	43	83	78	72
DI値(A)-(B)	△49	△36	△37	△41	△21	△24	△35	△13	△19	△39	△42	△38	△77	△15	△22	△76	△72	△69
今-前/次-今	13	△1		20	△3		22	△6		△3	4		62	△7		4	3	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	9	15	14	5	15	18	13	29	23	15	9	9	0	21	21	7	8	6
変わらず	30	30	38	41	27	34	37	26	38	31	47	49	23	29	43	10	14	27
悪化(B)	61	55	48	54	58	48	50	45	39	54	44	42	77	50	36	83	78	67
DI値(A)-(B)	△52	△40	△34	△49	△43	△30	△37	△16	△16	△39	△35	△33	△77	△29	△15	△76	△70	△61
今-前/次-今	12	6		6	13		21	0		4	2		48	14		6	9	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	9	13	13	8	12	12	9	19	23	17	4	9	0	29	14	3	11	8
変わらず	32	37	41	38	36	46	44	36	35	33	56	51	15	21	50	17	22	28
減少(B)	59	50	46	54	52	42	47	45	42	50	40	40	85	50	36	80	67	64
DI値(A)-(B)	△50	△37	△33	△46	△40	△30	△38	△26	△19	△33	△36	△31	△85	△21	△22	△77	△56	△56
今-前/次-今	13	4		6	10		12	7		△3	5		64	△1		21	0	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	8	6	5	16	9	12	6	6	6	0	7	2	8	0	0	13	3	3
適正	66	66	64	57	61	55	63	55	55	83	69	69	77	86	86	50	69	66
少ない(B)	26	28	31	27	30	33	31	39	39	17	24	29	15	14	14	37	28	31
DI値(A)-(B)	△18	△22	△26	△11	△21	△21	△25	△33	△33	△17	△17	△27	△7	△14	△14	△24	△25	△28
今-前/次-今	△4	△4		△10	0		△8	0		0	△10		△7	0		△1	△3	
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	9	10	9	11	9	9	13	16	13	11	13	13	0	7	7	7	3	3
支障がない	62	67	70	70	73	70	59	55	61	52	65	71	77	86	86	60	69	66
苦しい(B)	29	23	21	19	18	21	28	29	26	37	22	16	23	7	7	33	28	31
DI値(A)-(B)	△20	△13	△12	△8	△9	△12	△15	△13	△13	△26	△9	△3	△23	0	0	△26	△25	△28
今-前/次-今	7	1		△1	△3		2	0		17	6		23	0		1	△3	

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答158社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	17社	11%	5%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	41社	26%	29%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	100社	63%	66%
DI値(A)-(B)		△52P	△61P

